

2019年度 農林水産省・文部科学省後援

# 日本農業技術検定

検定試験日 第1回 7/13 土 第2回 12/14 土

応募期間

第1回 4月26日(金)～6月3日(月)  
第2回 10月1日(火)～11月5日(火)

受験級

第1回 3級・2級  
第2回 3級・2級・1級



名城大学 農学部 の学生 (農学部講義棟横にて)

## 学生時代に農業の 検定資格を取ろう!

就職に備えて農業知識のキャリアアップを図ろう!

日本農業技術検定は、わが国の農業現場への新規就農のほか、農業法人や関連企業等への就業を目指す学生や社会人などを対象として、農業知識や技術の修得水準を客観的に把握し、教育研修の効果を高めることを目的として、2007年度から実施している農業専門の全国統一の試験制度です。

大学で学んだ農業に関する実践的知識の修得水準を客観的に測定しますので就職に向けたキャリアアップに役立ちます。勉学の成果を検定に活かしましょう(一般的に就職時には各種資格取得がある方が有利です)。

実施主体

日本農業技術検定協会  
(事務局：一般社団法人全国農業会議所)  
〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8

TEL: 03-6910-1126 FAX: 03-3261-5131  
e-mail: kentei@nca.or.jp

ホームページ ▶ <https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>

日本農業技術検定協会構成団体

全国農業協同組合中央会／全国町村会／全国農業高等学校長協会／全国農業大学校協議会／全国農学系学部長会議／全国大学附属農場協議会／(公社)日本農業法人協会／(一社)全国農業改良普及支援協会／(公財)農民教育協会／(公社)国際農業者交流協会／(一社)日本農業機械化協会／(一社)全国農協観光協会／(一社)農山漁村文化協会／(一社)全国農業会議所(事務局)の14団体によって構成されています。

# 日本農業技術検定概要

## 第1回

2019年7月13日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

## 第2回

2019年12月14日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

1級 13:00~14:30 (90分)

## 応募期間

第1回 4月26日(金)~ 6月3日(月)

第2回 10月 1日(火)~11月5日(火)

## 試験会場

一般受験は東京・大阪等各地の指定会場

団体受験は試験実施団体の準備・提供した会場

## 受験料

	一般受験	団体受験	団体受験 (学生割引)
3級	3,080円	2,570円	1,540円
2級	4,110円	3,290円	1,540円
1級	5,140円	4,110円	2,570円

※酪農学園、拓殖大学北海道短期大学、秋田県立大学、日本大学、玉川大学、東京農業大学、千葉大学、信州大学、岐阜大学、名城大学、京都府立大学、県立広島大学、宮崎大学、琉球大学、鳥取大学、山口大学、佐賀大学、東海大学、南九州大学でも大学生の団体受験が進められています。日本大学生物資源科学部では農場実習の中で本検定受験を取り入れています。

※JA福岡中央会、JA福井県中央会、JA石川県中央会、JA長野中央会(JA長野県営農センター)、JAおきなわ、JAおおいた、JAくま、JAむなかた、JA粕屋、JA糸島、JA筑前あさくら、JAにし、JAみい、JAくるめ、JAふくおか八女、JA柳川、JAみなみ筑後、JAたがわ、JA福岡京築、JA高知市、JA三原、JA兵庫みらい、JA丹波ひかみ、JA大阪泉州、JA大阪南、JAグリーン近江、JA東びわこ、JAこうか、JA西びわこ、JAなんすん、JA御殿場、JAしみず、JAハイナン、JAぎふ、JA上伊那、JAかながわ西湘、JAセレス川崎、JA東京中央、JAマイنز、JA佐波伊勢崎、JA佐渡、JAみやぎ登米JA新はこだて には営農指導力の向上やJA一般職員のキャリアアップを目的に団体受験が進められています。JA営農指導員上位資格の要件の1つとして本検定を取り入れているところもあります。

※本検定は一定レベルの農業に関する実務的知識を取得していることの証明になります。

## 試験方法

[3級] 学科試験のみ

[2級] 学科試験+実技試験

[1級] 学科試験+実技試験

※1、2級も学科試験のみの受験が可能です。学科に合格した場合は、「学科試験合格証明書」を発行します。なお、1級・2級実技試験は、免除措置があります。詳しくはホームページをご覧ください。

3級 試験科目	農作業の意味がわかる入門レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 農業基礎として共通30問</li> <li>■ 「栽培系」「畜産系」「食品系」「環境系」から1科目選択で20問。ただし、「環境系」については、環境共通10問と3専門分野(造園、農業土木、林業)別に各10問</li> <li>■ 四者択一のマークシート方式による計50問</li> </ul>
	主な受験対象：農業高校生	
2級 試験科目	農作物の栽培管理等が可能な基本レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 農業一般として共通10問</li> <li>■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問</li> <li>■ 五者択一のマークシート方式による計50問</li> </ul>
	主な受験対象：JA営農指導員・大学生	
1級 試験科目	農業の高度な知識・技術を修得している実践レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 農業一般として共通20問</li> <li>■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問</li> <li>■ 五者択一のマークシート方式による計60問</li> </ul>
	主な受験対象：JA営農指導員・大学生	

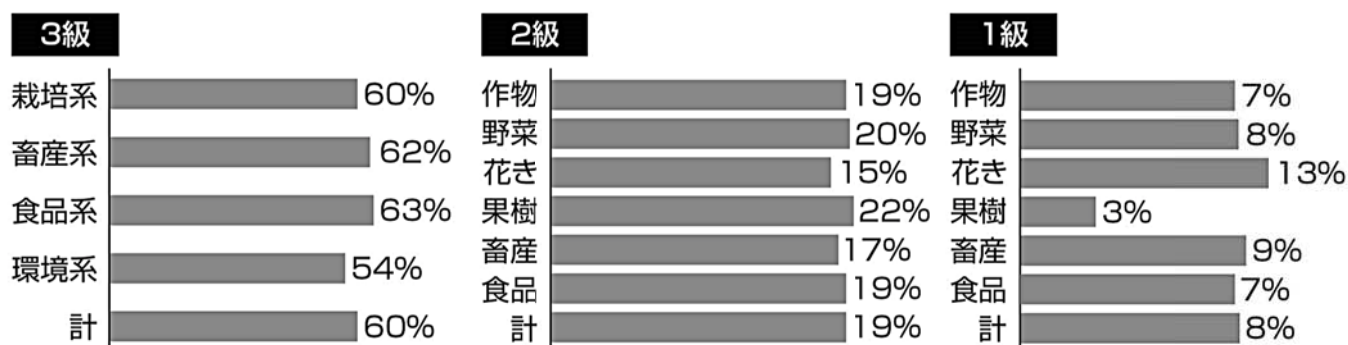
# 日本農業技術検定の受験実績

## ①全体受験実績(2013～2018年度)

(受験者数(人)  
合格率(%))

	3級	2級	1級	合計
2013年度	18,405人(62%)	3,859人(22%)	293人( 5%)	22,557人(54%)
2014年度	18,411人(67%)	4,104人(23%)	258人( 9%)	22,773人(59%)
2015年度	18,926人(68%)	4,949人(21%)	245人(10%)	24,120人(58%)
2016年度	20,183人(62%)	5,350人(19%)	308人( 8%)	25,841人(53%)
2017年度	20,681人(56%)	5,743人(18%)	277人( 6%)	26,701人(47%)
2018年度	20,521人(62%)	5,365人(20%)	247人( 9%)	26,133人(53%)

## ②科目別合格率(2016～2018年度)



## ③合格基準

【3級】100点満点の原則60%以上

【2級】100点満点の原則70%以上

【1級】120点満点の原則70%以上

## 実技試験

(2級、1級試験では学科のみの受験も可能です。学科試験合格者には学科試験合格証が交付されます。実技試験までご希望の方は以下をご参照ください)

### ①2級実技免除

2級実技試験(農業機械についてのほ場での実地検定)の希望者は11月に受験の機会があります。農業系の学校(農業高校、農業大学校、大学等)での農場実習、農業経験(JAの営農指導経験を含む)1年以上、2級実技試験免除規定に指定する農業用機械・食品加工の2機種(工程)以上を履修していれば免除が可能となります。

学校での2級団体受験の場合は、学校(団体)としての2級実技免除手続きをお勧めします(5年間有効)。具体的な手続きは本検定ホームページをご覧ください。

※免除申請がない場合の合格証は学科試験合格証明書になります。

### ②1級実技試験免除

1級実技試験(12月の1級学科試験と同日時に開催)は1級学科試験合格者の希望により受験が可能です。農業系の学校での、農場実習等4単位取得者又は2年以上営農実務経験を有する方は免除が可能となります。詳細は本検定ホームページをご覧ください。

## 申込方法

お申し込みは <https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>  
ホームページから ※インターネット環境がない方のために、FAX・郵送でも受付可。

### ①一般受験

個人がインターネットで申込み場合は、申込方法の「一般受験」画面から申し込む。

「農の雇用」事業研修生は、都道府県農業会議が受験者をまとめてインターネットで申し込む。

※受験料の振込先口座番号は受験者別になっており、毎回変わります。

### ②団体受験

学校・JA・農業法人などの実施団体がインターネットで申込み場合は、申込方法の「団体受験」画面から申し込む。

※一般受験も団体受験も応募期間内に受験料をお振込みください。

# テキスト・参考書 (購入方法などの詳細は検定ホームページをご覧ください)

2019年度版  
日本農業技術検定  
過去問題集  
好評販売中!

3級	(1) 2019年度版過去問題集3級 (発行)全国農業会議所 (2016年度、2017年度、2018年度試験問題6回分を収録)
	(2) 日本農業技術検定3級テキスト (発行)全国農業高等学校長協会
	(3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行)教科書出版社
2級	(1) 2019年度版過去問題集2級 (発行)全国農業会議所 ※2018年度試験問題2回分を収録
	(2) 日本農業技術検定2級テキスト (発行)全国農業高等学校長協会
	(3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行)教科書出版社
1級	(1) 1級学科試験問題…日本農業技術検定協会(全国農業会議所) ※2016、2017、2018年度試験問題、年度毎に実費販売
	(2) 日本農業技術検定1級…参考図書例 農業関係出版社

※1級試験問題は過去問題の出版物はありません。ホームページをご覧の上、日本農業技術検定協会事務局宛(kentei@nca.or.jp)にメールにてご連絡ください。実費でコピーして送付いたします。  
※テキスト・参考書については、それぞれの発行元にお問い合わせください。 全国農業高等学校長協会 TEL.03-5357-1666

## 大学での団体受験の取組み紹介

### 名城大学農学部

名城大学農学部附属農場は名古屋市に隣接する春日井市にあります。農場実習は農学部学年定員約330名のうち、生物資源学科約110人が2年次で必須単位となっているほか応用生物化学科や生物環境科学科の1年次・2年次の約180人が選択科目(農場実習・食品実習を含む)となっています。  
農場の敷地は13haと広く、農地は10haを占め、作物(水田1ha)、果樹、野菜、花卉、造園(竹類の見本園は全国有数)、畜産(鶏、牛)など6分野を網羅し、農場職員も教授1名、准教授4名、教職員のべ28名とかなりの体制となっています。  
同大学の卒業生は農業、食品、化学関連

企業の他、管内のJAや公務員として就職することが多いとのこと。日本農業技術検定については平成30年第2回検定の2級団体受験から始めましたが、元々農業に馴染みのない学生が学科の授業や農場実習の体験だけでは制限がある中で広く農業技術の知識を取得する上での動機付け、また自身の勉学の到達度の判定に役立てばという考えから取り組んだものです。  
就職するあたりキャリアは必要ですし、JAや公務員(農業)に進んでも農業現場での共通の基礎的知識は求められるので、こうした検定試験の活用も効果的であると認識しています。

### 日本大学生物資源科学部

日本大学生物資源科学部生命農学科では1年生と2年生が受講する農場実習の中で日本農業技術検定の受験を取り入れています。合格目標は1年生が3級、2年生では2級としています。  
実習では検定試験の内容に関するものをできるだけ取り入れて、学生にとっては実物を見ながら勉強できるので大変わかりやすくなったそうです。農場実習でこの検定試験を受けるようになったことで学生の目的意識が明確になり、農場実習に対する取り組み方もより真剣になり、卒業後、農業に関する職業を目指す学生には修得している専門資格としてアピールできることを目指すとのことです。

## 協賛企業・団体の募集を始めました

### 日本農業技術検定への協賛企業・団体の参加状況(私達も応援しております)

日本農業技術検定は、農業教育に関連する全国14団体による日本農業技術検定協会を組織して実施していますが、この度本検定の取り組みの必要性にご理解をいただける企業・団体を募集したところ、以下の企業・団体のご参加がありましたのでご紹介いたします(2019年4月1日現在)。今後、参加をご希望される企業・団体はホームページをご覧ください。



## 日本農業技術検定に関するお問い合わせ

日本農業技術検定協会 (事務局：一般社団法人 全国農業会議所)

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8  
TEL:03-6910-1126 FAX:03-3261-5131 e-mail:kentei@nca.or.jp